

研究主題 「弱視児童・生徒の自立活動に関する指導内容・方法の研究」

～発達段階に応じた援助依頼を目指した指導の在り方～

東京都弱視教育研究会は、都内の都立盲学校4校、筑波大学附属視覚特別支援学校、都内弱視通級指導学級12校（小学校9校、中学校3校 ※うち中学校1校休級中）により構成され、弱視児童・生徒が視覚障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する力を身に付けられるよう効果的な指導内容・方法について主題を設定して研究活動を行っています。

I 授業研究



本研究会では年2回授業研究を行い、研究主題に迫るための協議を重ねています。今年度は、発達段階に応じた援助依頼を目指した指導の在り方について、学校間の系統性に着目して検討を行いました。

第1回 令和4年7月4日(月) 江戸川区立松江第一中学校
題材名：「自分の課題を明確にして、適切な援助依頼をできるようにしよう」
指導講師：愛知教育大学 教育学部 准教授 相羽 大輔 様
内 容：高校入試に必要な援助依頼の方法とロールプレイ

第2回 令和4年9月5日(月) 大田区立東調布第三小学校
題材名：『自分ノート』をもとに、援助依頼をできるようにしよう」
指導講師：愛知教育大学 教育学部 准教授 相羽 大輔 様
大田区教育委員会 指導主事 浅羽 宏美 様
内 容：読みやすい文字の書体と大きさの理解
援助依頼の内容をまとめて伝える練習(ロールプレイ)

II 講演会

◇記念講演会

令和4年4月22日(金)

演題：「弱視教育の中で育てたい力」

講師：筑波大学 人間系(障害科学域) 准教授 小林 秀之 様

内容：自立活動の指導内容と合理的配慮の関連性について

(視覚障害大学生が感じた高校卒業までに身に付けたいこと)

◇見学会・講演会

令和4年8月2日(火)

演題：「視覚に障害のある学生の支援について」

講師：慶應義塾大学 経済学部 教授 中野 泰志 様

慶應義塾大学総合政策学部3年 金澤 悠人 様

内容：弱視大学生の体験談(受験・大学生活など)

視覚障害学生への支援について

◇講演会

令和4年12月5日(月)

演題：「視覚認知と学習支援」

講師：株式会社 育視舎 視覚発達支援センター

所長 築田 明教 様

東京都教職員研修センター 指導主事 橋本 修 様

Ⅲ 研究調査

①「援助依頼を目指した指導の在り方について」(研究推進担当)

対象：都内盲学校・視覚特別支援学校・都内弱視通級指導学級担任
方法：アンケート調査

今年度の研究の副主題である「援助依頼を目指した指導の在り方」の実態について、調査を行いました。援助依頼の具体的な指導の調査を行い、どのような場面で援助依頼が必要なのか、発達段階に応じた具体的な指導法、指導のポイントなどをまとめることを目的としています。

②「弱視児童・生徒の自立活動に関する指導内容・方法の研究」
(資料整備担当)

対象：都内盲学校・視覚特別支援学校・都内弱視通級指導学級担任
方法：アンケート調査

児童・生徒の自己理解の深まりや、援助依頼の実態を継続的に調査・分析することによって、これまでの指導を振り返り、今後の指導の指標を立てることを目的としました。

Ⅳ 資料提供

本研究会所属校の事例を共有することで、弱視教育に関する知識・実践経験の蓄積を大切にしています。

- ◇令和4年5月9日(月) 世田谷区立笹原小学校
 - ・中学校進学へ向けての援助依頼資料作りについて
- ◇令和4年10月3日(月) 新島村立新島小学校
 - ・学級の概要
 - ・指導内容の紹介

Ⅴ 研修会・研究発表

◇令和4年度 第1回専門性向上研修

令和4年5月9日(月)

演題：「MNREADについて」

講師：世田谷区立笹原小学校 主任教諭 豊田 裕美

◇令和4年度 第2回専門性向上研修

令和4年10月3日(月)

演題：「視機能評価について」

講師：都立八王子盲学校 指導教諭 菅井 みちる

◇第63回弱視教育研究全国大会(栃木大会) ※Web開催

開催期間：令和5年1月20日(金)～3月31日(金)

発表：「発達段階に応じた自己理解・援助依頼の指導の在り方
-自己理解及び援助依頼の指導内容と工夫を中心とした4年間の研究実践のまとめ-」

主催：日本弱視教育研究会

後援：文部科学省、栃木県教育委員会、全国盲学校長会、
栃木県特別支援学校長会、関東甲信越地区盲学校長会

<連絡先>

団体名		東京都弱視教育研究会
代表者	所属	世田谷区立笹原小学校
	職 氏名	校長 後藤 真司
	連絡先	TEL 03 (3428) 9254 (直通)
事務局	所属	世田谷区立笹原小学校
	職 氏名	主任教諭 北川 由美
	連絡先	TEL 03 (3428) 9254 (直通)